

き　れ　い　な　空　氣　よ　い　水　を　求　め　て

会報 かほく きょう

Vol. 37

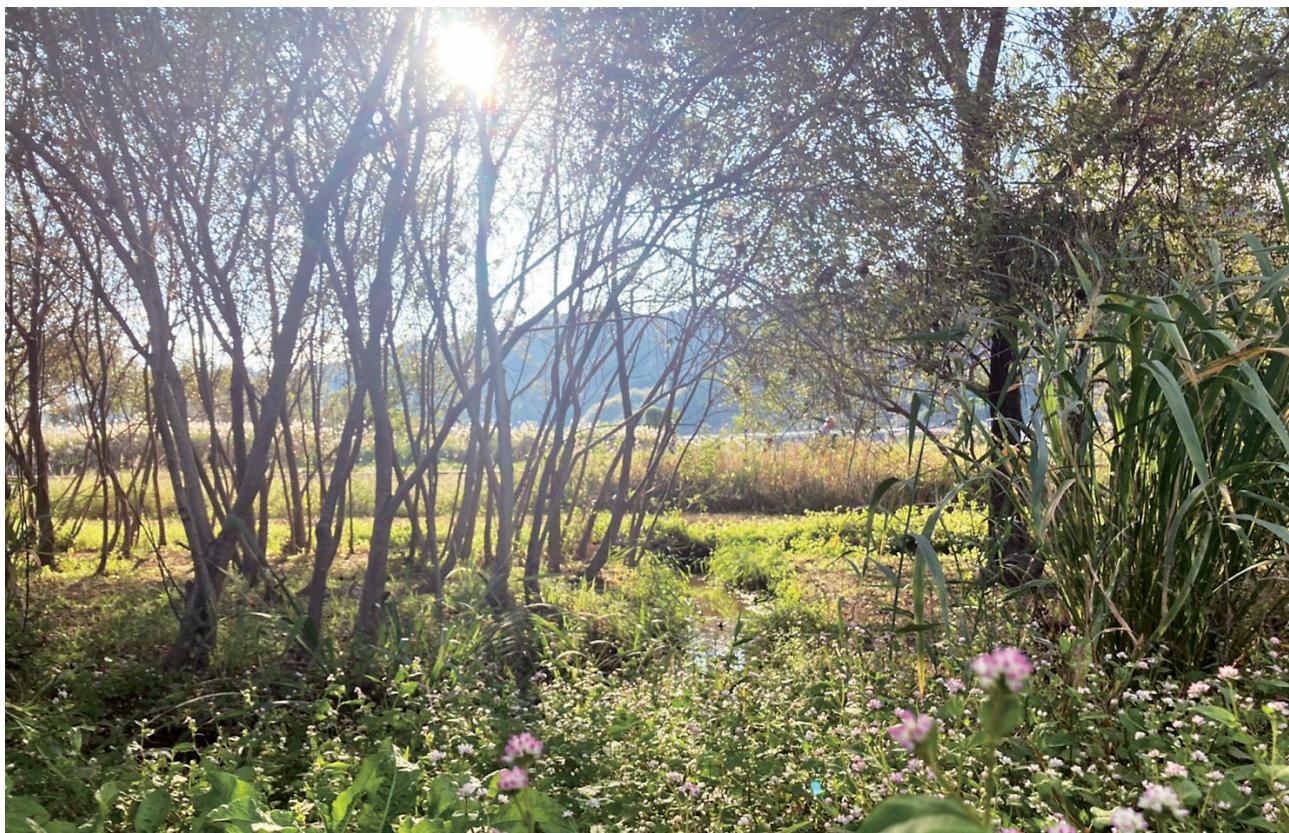


photo:「あさはた緑地 秋の風景」



photo:「あさはた緑地 センターハウス」

令和5年度 通常総会開催
通常総会 …1

講演会「三保松原の保全対策について」…2

環境講座
興津川の生きもの観察会 …3

かんきょうにゅーす …4

環境局環境共生課からのお知らせ …5

令和5年度
通常総会

静岡市環境保全推進協力会

令和5年度 通常総会開催

開催日：5月16日(火) 会場：グランシップ910会議室

令和5年度通常総会は、小野田会長の挨拶から始まり、来賓の静岡市議会議長・井上恒彌氏、静岡市環境局長・田嶋太氏からご祝辞を賜りました。

次の4つの提出議案はすべて原案どおり承認、可決されました。

第1号議案 令和4年度事業報告

第2号議案 令和4年度収入・支出決算

第3号議案 令和5年度事業計画(案)

第4号議案 令和5年度収入・支出予算(案)



小野田和靖 会長



市議会議長 井上恒彌 氏



環境局長 田嶋 太 氏

講演会

〔演題〕三保松原の保全対策について

〔講師〕一般財団法人 三保松原保全研究所 技術課長補佐 山下和晃氏

令和5年度通常総会において、三保松原保全研究所の山下和晃氏をお招きし、「三保松原の保全対策」についてのご講演を拝聴いたしました。

冒頭、「三保松原保全研究所」は、令和元年6月に県・市・民間企業3者の協力により設立され、世界文化遺産の「富士山」の構成資産である三保松原の保全及び保全活動の専門的かつ技術的サポート、知見の集積・発信などを主に行っているとの紹介がありました。

引き続き、以下のテーマに関して、ご説明をいただきました。

1. マツ材線虫病について

マツ材線虫病は世界4大樹木病害の一つであり、被害を放置した場合、数年でマツ林が壊滅する恐れがある非常に怖い病気である。

マツ材線虫病は、病原体である「マツノザイセンチュウ」、媒介者である「マツノマダラカミキリ」、感染源である「枯れマツ」によって引き起こされる。

静岡県では、昔からマツ材線虫病対策を実施していたが、ほとんどのマツ林が枯れてしまい、今では、数少ない重要なマツ林（防災林など）を集中的に守っている。

2. 三保松原の保全対策

保全対策として、「マツ材線虫病防除」、「老齢大木の樹勢回復」、「危険木対策」、「森林整備」の4つを実施している。

〔以下各対策の説明〕

「マツ材線虫病防除」は、伐倒駆除（感染源：枯れマツの調査、伐倒、処分）、薬剤散布（媒介者：マツノマダラカミキリの駆除）、予防剤樹幹注入（病原体：マツノザイセンチュウの感染予防）の3つを実施している。これらの対策を徹底的に実施することで三保松原でのマツ材線虫病感染拡大を防止している。

「老齢大木の樹勢回復」は、樹木診断（マツの状態把握）、土壤改良（マツの樹勢回復）、ルート設定（土壤の固結化防止）、病害虫の防除の4つを実施している。特に、羽衣の松周辺の老齢大木は樹勢が悪くなっていたため、土壤改良などの対策を実施したことと、現在、全てのマツの樹勢が回復傾向にある。

「危険木対策」は、倒伏対策（支柱、ワイヤーロープの設置）、腐朽対策（空洞、欠損処置）、危険枝対策（枯れ枝、折れ枝の除去）の3つを実施している。腐朽により周辺の建物や歩行者に被害がおよぶ恐れがあるマツや落下する危険性がある枝に対して対策を実施し、安全性の確保に努めている。

「森林整備」は、間伐、落葉搔き・除草の2つを実施している。三保松原では過密化が進行していることから、健全なマツの育成のために今後、間伐を実施する必要がある。また、マツの落ち葉が溜まり、草が生えてくるとマツと共に生している菌根菌が弱ってしまうことから、落葉搔き・除草を実施している。

特に、落葉搔き・除草については、静岡市環境保全推進協力会でも行っていることであり、三保松原を保全する一助になっていることがわかりました。そして、このような保全対策によって、現在の「三保松原」が維持されていることが理解できました。

3. 質疑応答

三保まつしらべについて

・「三保まつしらべ」（アプリ）では、1本1本のマツをGIS管理しており、目の前にあるマツの情報（太さや高さ）を調べたり、お気に入りのマツの登録、マツの異変を通報できる機能があるそうですので、登録してみては如何でしょうか。

下草刈り時期や、植樹する場合の密度について

・マツの周りは他の草木は無いことがベストですが、雑草が成長する5～6月頃に1回、雑草が繁茂する8～9月頃に1回草刈りを行い、マツ周りの環境を整えるのが良いとのことで、私たち保全推進協力会で毎年実施している下草刈りの時期で概ね問題ないことを確認できました。
・マツを植樹する場合は、幼齢の苗木を多く植え、成長や環境に合わせて間伐する（状態の良いマツを残す）手法が良いそうです。尚、現在の三保松原は、やや過密林のようです。

最後になりますが、世界文化遺産の「富士山」の構成資産である三保松原は、行政の方々、専門家のの方々、ボランティアの皆さまの協力のもと、現在の景観が保たれており、今後も足並みを揃え、保全活動を続けていく必要性を認識できた素晴らしいご講演でした。山下先生、どうもありがとうございました。

（株）巴川製紙所 辰橋史一



興津川の生きもの観察会

令和5年8月25日(金曜日)

8月25日(金)、「興津川の生きもの観察会」を開催いたしました。昨年は静岡市葵区の藁科川で行い、今年は場所を清水区興津川に移し「NPO法人静岡県環境カウンセラー協会」の守屋司子さんを講師に迎え、楽しみながら環境保全を学ぶ活動にご協力をいただきました。

参加者は両河内生涯学習交流館の会議室に集まり、先生から静岡市を流れる川の生きもの種類や生息地、また川の水質などについて分かりやすく丁寧に教わりました。お話の後、実際に川の生きものを観察するため、捕獲網や観察ケースなどを持って川に向かいました。開催日の前日に、所どころで強い雨が降ったため、川が少し増水しており濁りも若干ありましたが、当日は晴天でいつも通りの暑さでした。川岸に着き静かに浅瀬をのぞき込むと、小さな動く影をいくつか確認することができました。早速、全員で熱中症対策と川に入る準備をして、捕獲網を手に持ち浅瀬に入りました。泳いでいる小さな魚や石の裏に潜んでいる生きものなどを捕まえ、捕まえた生きものは観察ケースに入れました。捕らえた生きものが徐々に増えてくると、まだ捕まえていない種類の生きものを見つけたくなり、夢中になって探しているとあっという間に1時間を経過していました。



- 興津川で捕まえることができた生きものを紹介します。小さな魚は、ウグイやオイカワなどの稚魚(魚体が小さく判別が難しい)。水生昆虫は、ヒラタカゲロウ、カワゲラ、ヤゴ、ヘビトンボなどの幼虫。カジカガエルのおたまじゃくしを確認できました。
- 観察が終わると生きものが弱ってしまう前にそっと川に返しました。併せてCODのパックテスト(簡易水質検査)も行いました。検査容器に水を入れ数分間待ち、試薬に反応した水の色で水質を判定します。検査結果は、汚れが少ない良好な状態であることが分かりました。会議室に戻り、川で捕まえた生きものについておさらいして、楽しかった観察会を終えました。

日本軽金属㈱ 佐藤信宏



事務局からのお知らせ

令和5年度事業報告・事業計画

令和5年度の事業報告とこれからの事業計画をお知らせします。

春の市民の森づくり 4月22日(土)【1社、3名出席】

〈興津川保全市民会議(静岡市環境局環境共生課)から情報提供〉

クールビズの実施 5月1日(月)～9月30日(土)

〈静岡市環境局環境創造課から依頼〉

理事会 5月16日(火)【12社、14名出席】

- ①令和4年度事業報告及び収入・支出決算
- ②令和5年度事業計画(案)及び収入・支出予算(案)

通常総会 5月16日(火)【35社、46名出席】

- ①令和4年度事業報告及び収入・支出決算
- ②令和5年度事業計画(案)及び収入・支出予算(案)
- ③講演会「三保松原の保全対策について」
講師:一般財団法人 三保松原保全研究所
技術課長補佐 山下和晃氏

静岡市環境大学2023受講生募集

募集期間:5月11日(木)～6月9日(金)
〈静岡市環境局ごみ減量推進課から依頼〉

環境の日及び環境月間の啓発活動

6月1日(木)～6月30日(金) 〈環境省から依頼〉

三保真崎海岸清掃活動 6月3日(土) ※雨天中止

植林活動

第1回下草刈り 6月24日(土)【17社・89名参加】
第2回下草刈り 10月28日(土)

第1回 環境講座 8月3日(木)

三保松原の松のお話と松ぼっくりのオーナメント作り
※開催中止(応募者なしのため)

第2回 環境講座 8月25日(金)【2社・7名参加】

興津川の生きもの観察会

富士山世界文化遺産 登録10周年記念シンポジウム

8月27日(日)

〈静岡市観光交流文化局文化財課から依頼〉

興津川クリーン作戦 9月2日(土)

〈興津川保全市民会議(静岡市環境局環境共生課)から依頼〉

第12回 排水処理技術セミナー 10月31日(火)

優良施設見学研修会 11月21日(火)

環境セミナー 2月20日(火)

会報発行 9月・3月

啓発活動 (随時)

情報提供 (随時)

清水区三保クロマツ植樹地

下草刈りの実施

【第1回】令和5年6月24日(土)

参加者は17社、89名。草刈りとともに落ちている松葉も集め、作業は1時間程度で終了しました。平成22年と平成27年に植樹した松は3.5m程度になっているものが多くあり、今後も活動を継続し、成長を見守って行きたいと考えています。

今回多くの方に参加していただき感謝申し上げます。



令和5年度 静岡市 森林環境アドプト事業



令和5年度 静岡市

森林環境アドプト事業

寄附金
募集中

静岡市森林環境アドプト事業とは、森林地域の恩恵を受ける都市地域の企業・団体等の皆さまにご寄附をいただき、市内の森林整備を行うことで、森林による二酸化炭素削減・吸収効果を拡大させる取り組みです。

当該事業は、活動を通じ、経済・社会・環境の三側面の課題を統合的に解決していきます。

【寄附金の使途】 森林整備(間伐や作業道の整備)及び間伐材を活用した積み木の製作等に使用させていただきます。
また、製作した積み木は、市内こども園等へ寄贈を行っています。

【寄附金の対象】 法人 10万円以上／年 **【寄附金募集期間】** 随時

【申込方法】 静岡市森林環境アドプト実行委員会ウェブページ(静岡市役所HP内)にある所定の「寄附申込書」にご記入のうえ、本会事務局宛てご提出ください。

【払込方法】 寄附申込書をご提出いただきましたら、本会事務局から払込方法について、ご案内いたします。

～静岡市森林環境アドプト事業へのご参加メリット～

① 新聞や各種イベント
での企業名の公表

② CSR・CSV・SDGs
としてのご活用

③ 企業価値の向上

【問い合わせ先】静岡市森林環境アドプト実行委員会事務局(静岡市環境局環境創造課内)
住所: 静岡市葵区追手町5番1号 電話: 054-221-1077 FAX: 054-221-1492

静岡市森林アドプト

検索



～ 河川環境アドプトプログラムのご案内 ～

環境美化 ボランティア はじめませんか？

河川環境アドプトプログラムとは？

- ・清掃活動を通じて、川への愛着を深めながら美しい河川づくりを目指します。
- ・安倍川・藁科川・興津川の16区間に環境美化ボランティアの皆様を縁組し、約60団体が活動しています。
- ・個人、家族、学校、自治会・町内会、事業所など様々な単位で参加できます。

活動すると。。。。

1. きれいな川の維持につながります！

安倍川は、平成の名水100選に選ばれました。
また、興津川は清水区の貴重な水源であるとともに
憩いの場となっています。



2. 企業のイメージアップにつながります！

参加者を市ホームページで紹介し、アドプト区間に表示します。活動が表彰の対象になります。
(過去に参加団体が静岡県河川協会会长賞を受賞しています。)



問合せ先: 静岡市環境共生課

TEL: 054-221-1319 FAX: 054-221-1492

Mail: KanKyou-Kyousei@city.shizukal.gov.jp

https://www.city.shizukal.gov.jp/041_000001_00007.html



【興味のある団体の皆さん】

職員による出張説明を
実施しています。
遠慮なくご相談ください！